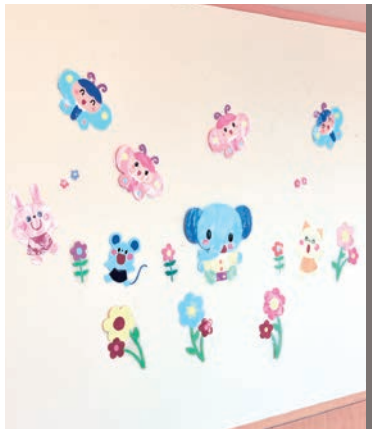
学園報

Sugiyama
人間になろう

2022.4.30 vol.171



CONTENTS

理事長就任の挨拶	01
理事長退任の挨拶	03
学長退任の挨拶	04
学長就任の挨拶	05
校長就任の挨拶	06
令和4年度事業計画書	07
学園ニュース	09
理事会・評議員会の議題・報告事項	14
学園規程の変更	15
人事・顕彰・訃報	16
NEW FACE	18
令和4年度入試の状況	20
学園行事予定・編集後記	20

理事長就任の挨拶

就任にあたってのご挨拶

理事長　椙山 泰生

この4月より、理事長に着任しました、椙山泰生です。椙山女学園のこれまでの伝統をしっかりと堅持しつつ、時代の要請にこたえる教育を実現すべく、尽力していく所存です。よろしくお願いいたします。

この学園報の場をお借りして、私から、二つのことを学園の皆さんにお伝えしたいと思います。

学習における能動性とは

一つめは、学習における能動性を実践することについてです。椙山女学園は、「人間になろう」を教育の理念としていることは、皆さんご存じのとおりです。「人間になろう」という言葉には、「なろう」とする決意を表明し、それを実践できる自主性・主体性を育んでほしいという思いがこめられています。学習者による能動的な取り組みを通した人間形成が、椙山女学園全体の理念となっています。

能動性を重視した教育は、近年、アクティブラーニングという形で、学校現場で様々な実践が進められています。児童、生徒、学生が受け身ではなく、自ら能動的に学びに向かうよう設計された学習法を導入することで、学修者の教養、知識や社会的能力を育むことが狙いとされています。グループワークやディベート、より高度な形態としては、問題解決型学習（PBL）などの取り組みが実践されています。

しかし、自主性・主体性をどのようにすれば育むことができるの

編集・発行　学校法人椙山女学園 事務局　〒464-8662　名古屋市千種区星が丘元町 17 番 3 号　TEL 052-781-1186　FAX 052-781-8831　URL https://www.sugiyama-u.ac.jp

かというのは難問で、アクティブラーニングを形として導入しても、学習における能動性や主体性が実現するとは限りません。アクティブラーニングに対する取り組みは、活動が教員の手によって構造化され、児童、生徒、学生を活動に受け身で参加させる力が強く働くことが少なくありません。また、グループ・ワークやディスカッションなどへの参加が義務付けられることで、個々の生徒・学生の責任がかえって不明瞭になることもあります。これらによって、児童、生徒、学生から、真の意味での主体性を奪ってしまうことにもなりかねないとも思います。自主性を促進しようと真剣に取り組むほど、「受動的な自主性」という奇妙な姿勢を助長してしまうこともあるのです。

私が専門としている企業経営の領域でも、近年、このことを彷彿させる現象があります。21世紀にはいって、起業家教育が普及し、いわゆるスタートアップと呼ばれる新しい企業を支援するための社会的仕組みも整ってきています。各大学に起業家教育プログラムが設置され、アクセラレーターと呼ばれる実践支援のための組織もここ10年間で急増しました。そうすることで起業家予備軍は周到に失敗を避けることが可能になります。このこと自体、悪いことではありません。ですが、失敗を経験しにくくなり、あるいは失敗してもそれが内省に向かいにくくなり、失敗を顧みることによって育まれる起業家としての能力や復元力（レジリエンスといいます）が、かえって育まれにくくなってもいるようです。能動性や主体性と起業家精神は密接な関係があるのですが、実践を支援することによって、かえって起業家精神や能力が育まれにくくなっているという側面もあるのです。

これらのことは、教育や学習の支援における能動性や自主性の重要性を否定するものでは決してありません。また、我々の理念である「人間になろう」の「なろう」という言葉に込められた能動性・主体性への志向をくじくものでも全くありません。そうではなく、能動性は大きな「方法」を導入することで簡単に育てることが難しいことを認識した上で、これまでにもまして、一層工夫して真摯に取り組んでいかなければならないのだということを示しているのだと思っています。

私見ですが、能動的な学習は、教育現場での細部のケアで実現されるものだと考えています。大きな仕組みを外から持ってくるだけではなく、教育現場の一つ一つの場面、瞬間に能動性を埋め込むことが大事なのではないかと思います。また、教えすぎずに、学生・生徒が学べる状況を用意し、彼女たちの自然な相互作用を時には待つことも必要であるように思います。能動的な学習の実現は、簡単に実現できない目標ですが、学びを促進する状況を学園として作るべく、教職員の皆さんと、これから一緒に追求していきたいと思っています。

学園の「変わるもの」「変わらないもの」

今回、皆さんにお伝えしたいことのもう一つは、学園の変わらないものと変わるものについてです。

皆さんもご存じのように、椙山女学園の起源は、1905（明治38）年に私の曽祖父母にあたる椙山正弋・いま夫妻が開校した、名古屋裁縫女学校です。以来、120年近くの間、椙山女学園は、時代に応じて変化しつつも、一貫して「女性により高い教育の機会を提供する」ことを目指して、努力を続けてきました。設立以来の伝統は、社会の要請に従って、女性が必要とする教育を提供することでした。これは、「変わらないもの」です。

一方、時代によって、「女性により高い教育の機会を提供する」ということの意味は変わってきたように思います。学園創設当初である名古屋裁縫女学校設立の際には、明治後期の日本で、「女性が十分な社会的貢献を果たせていない」ことを憂い、実践的教育の必要性が説かれていました。当時、時代が必要としている女性教育は、裁縫をはじめとする家庭での実践のための教育であったのです。

では、現代の女性に必要な教育とは何でしょうか。男女雇用機会均等法の施行以来一世代が経過し、現代では女性が社会で働くことが当然視されるようになっています。しかし、それにもかかわらず目に見えない様々な壁が残っていることも、否定できません。日本のジェンダーギャップは先進国で最低レベルとされており、社会にはまだ解決しなければならない課題も多いのです。教育を受ける機会そのものは、日本では男性と女性で格差がなくなっているのですが、社会に出ると意思決定への参加や行使可能な権限などの点では、根深い問題が残っています。女性が重要な意思決定に参画できていないという状況を、どのように教育から変えていけるかについて、我々のような学園は問われていると考えなければならないでしょう。

自ら関わる女性を育てる学園に

社会に自ら関わり、発言し、責任を担っていく女性を育てるためには、一つめの話に戻ることになりますが、学習者自らの能動性を重視した真の意味でのアクティブラーニングが大切になります。児童、生徒、学生が自ら関与できる能動的学習の環境を実現すべく、学園全体が一貫して努力していくことが、これまで以上に大切になっていると感じています。より一層、気持ちを引き締めて、私はこれから学園の運営に邁進してまいります。学園関係者の皆さん一人一人が手を携えて「変わるもの」を実践し、それを通じて、椙山女学園の「変わらないもの」を現代の日本に示していきましょう。

理事長退任の挨拶

10年間のサポートに感謝

特別顧問　森棟 公夫

2012年4月に始まった10年間の勤めを終え、3月末で理事長を退任しました。大過無く職を終えられたことを喜びとします。皆様のサポートには深く感謝いたします。

椙山女学園大学に着任したのは2010年4月です。それ以前は、椙山正弘先生からお話を受けてから2年程参与として理事会に参加し、学園運営の概要を学ばせていただきました。2010年4月からは現代マネジメント学部で教える一方、副理事長として学園の様々な行事、卒業式や入学式にも参加しました。

椙山に来る前は名古屋をほとんど知りませんでした。名古屋大学や南山大学で学会があった時などに数えるほど来ただけです。京大の最後の数年は非常に忙しくて、既に述べたように椙山の理事会の折や、東京への出張の帰りに名古屋に寄って住居を探しました。結局は、「大学が星が丘にあるから東山線沿線、かつ滋賀県の大津に家があるので高速道路へのアクセスが便利なこと」という希望により、不動産屋さんは本郷で探してくれました。2009年12月には住居は決まっていて、2010年の2月には引っ越しも終わり、電化製品の設置なども済んでいます。気が早いようですが、京大最後の3月は台湾で一月間の集中講義をする約束になっていたからです。台湾の大型研究費で招待してくれたのですが、10回程の講義、講演をする約束でした。一月間滞在しろという条件もありました。長過ぎですが、夫婦で来いという事だったので、京大最後は台湾観光をしようと決断して台湾に行ったのです。台湾滞在は楽しく過ごしました。まずは気候、そして人々の親日度。台湾の人は恐らく昔の日本の様に親切で、講義の合間に台湾中を観光に連れて回ってくれました。一日に二回講演をすると、三日も旅行に出掛けます。阿里山、太魯閣渓谷などの観光地ならびに農業地帯など各地を訪問。祖父が台湾製糖に一時いたと聞いていたので、農業にも興味を持ちました。2010年3月30日に帰国し、4月1日に椙山の辞令を拝受しました。

椙山に移って一番苦労したのは授業です。ほぼ35年間京大で教えていたのだから当然ですが、調整が大変でした。生活が変わったこともあり、年末にお腹が痛いと感じ検査を受けたら初期の胃潰瘍が見つかって、薬を飲みました。看護学部が設立された年であり、後藤宗理先生も同時の着任です。2011年1月にはタイのチェンマイ大に招待され、夫婦で訪問しています。象園に行ったりして暢気に過ごしました。2011年度もまだ余裕があり、新世社から頼まれていた『教養　統計学』の原稿を完成しました。副理事長としては、小学校の新築構想会議に参加し、学年3クラス、アフタースクールなどが決まります。この会議に参加していたお陰で、椙山美恵子先生に頼まれていた幼稚園の新築についての構想が湧きました。それは、1）2013年4月に小学校が新校舎に移動したら旧小学校に幼稚園を移す、2）旧幼稚園を更地にし、新園を2013年中に新築する、3）こども園関連法の整備を見越して、新園に保育園を併設する。2012年中に全てを固めないといけない綱渡りの構想でした。

2012年4月に理事長ならびに大学長になりました。（学長は2018年3月まで）。私はこの時から会議等に追われる毎日が続きます。小学校は、購入した土地が斜面なので地下に体育館を建てるという大工事を行い、2013年3月に完成。新幼稚園の計画も検討が進みました。2013年5月に幼稚園が旧小学校に移って工事が始まり、2014年3月に新園舎が竣工します。従来、三棟だった幼稚園は一体式の新園舎になり、また預かり保育が拡充されました。保育園の準備もでき、政府による法律改正（子ども・子育て支援新制度）を待って、小林豊子園長の下2015年4月に保育園が開園されました。この保育園の経験を経て、2019年4月には、星が丘に椙山こども園（幼保連携型認定こども園）を新設し、小林豊子保育園長がこども園長に移動します。現在は、両園とも高い評価を得ています。

老朽化した学校設備のリフォームも考えました。最初は現代マネジメント学部の学生トイレの改修でしたが、これが予想以上に学生に好評だったため学園内のトイレ改修を続けています。また、現代マネジメント学部は学生控室が工場の食堂のような低い天井の部屋だったので、大胆な改修をしました。中高でも和風館、プール、トイレなどを改修しました。大学、中高の教室等の改修は現在も続いています。

理事長就任の挨拶
理事長退任の挨拶
校長就任の挨拶
令和4年度事業計画書
学園ニュース
理事会・評議員会の議題・報告事項
学園規程の変更
人事・顕彰・訃報
NEW FACE
令和4年度入試の状況
学園行事予定・編集後記

大学については、2013年度にベストティーチャー賞などを急遽定めて、文科省の「私立大学等改革総合支援事業」に応募し採択されて、2014年3月に図書館にラーニングコモンズを設置しました。2015年度の「改革総合支援」ではキャリア育成センターを設置し、キャリア支援課を人間交流会館に移転しました。学園センターの一階、二階のリフォームも続きました。2015年4月からは教養教育の全学共通化を実行。2016年度の「改革総合支援」では大学会館に大教室Spiritを造りました。こういった改革が続いていたときは、大規模校の定員管理の厳格化もあり、オープンキャンパスの参加者が年々増えていきました。新型コロナ感染症によって残念ながらこの流れは止まってしまったようです。

大学の運営方式に関しては、野淵龍雄学長時代に始まった常置委員会構想に対する批判が続いたため、これを廃案とし、2014年には学長連絡会を廃して大学運営会議を開始。大学院現代マネジメント研究科と教育学研究科が開設されたのもこの年です。

研究費等については、科研費申請・採択に応じた研究費配分の増減（2012年度）、学園研究費助成金Cの廃止、大学活性化経費（2013年度）、図書館環境整備費（2014年度）、学部環境整備費（2015年度）を定めました。科研費申請に応じた研究費の措置では、研究協力者として申請に名が上がっていれば研究費の減額無しとなります。そのため、研究協力者として名は上がっているものの、研究費配分額が一万円といった科研費申請も出てきて、大学人としてのプライドはどうなっているのかと呆れて見ていました。この様なその場凌ぎの対処を平気でする教員は、教育もその場凌ぎで済ますのではないか、と心配します。現在はどうなっているのでしょうか。こういった改革は、研究費は大学からほとんど貰えなかったという京大時代の経験から来ています。研究費は自分で取ってくるという原則です。

いろいろ大変な10年でしたが、この度、理事長を退任いたしました。後期高齢者になりましたが、昔からやっていたバドミントンはまだ週3回くらいは練習しています。近辺の山の登山も、また冬期のスキーも続けており、これからも元気に過ごしてまいります。

学長退任の挨拶

椙山での12年　— 教員として、学長として —

大学前学長　後藤 宗理

椙山女学園大学へは、看護学部が発足した2010年4月に着任しました。もともと保育士養成、幼稚園・小学校の教員養成に30年かかわってきましたので、人のお世話をする人になりたいという目標を持った学生たちと最後の教員生活を送る喜びを感じていました。一方で、看護師保健師になるには国家試験を受験しなければならず、その難しさは想像できませんでした。3期生が入学した時から看護学部長を務めましたが、入学者の確保よりも国家試験合格者が他大学と比べて引けを取らないものにできるか神経を使いました。さいわいお正月休み返上のご指導のおかげで毎年100%に近い合格率を出してきました。

教養教育と養護教諭の教職以外にキャリア教育を担当できることになりました。文部科学省の就業力育成事業に採択され、予算が付いたので、学生ポータルシステムを構築し（SUCCESS：SUgiyama's CareerConstruction,Encouragement,and Support System）と命名しました。

さらに講義科目として「仕事学入門」を開講して、キャリアの考え方を講義するだけでなく、いろいろな職種の現役の方に登場していただき働くとはどういうことかを語っていただきました。その人たちを人材バンク（「椙山応援団」）として登録していただきました。

学長としては、4年間の任期中に2030年を想定して中長期計画を立案し、工程表を検討することを課題としましたが、実際には、

2019年12月から発現した新型コロナウイルス感染症の拡大防止に追われました。多くの行事は中止や変更を余儀なくされ、予定通り進められたのは公益財団法人大学基準協会による認証評価の実地視察だけといってもいいほどです。それもZoomによるオンライン面接でしたから、本学のよさはうまく伝わらなかったのではないかと思っています。コロナ禍で大きく変わったのは講義方法です。対面授業が基本だったものが、遠隔になり、実習や実験も前年までとは大きく変わりました。そういう状況の中でそれぞれの教員が工夫したり、学生が積極的に新しい方法を編み出すことで、効果を生んだものもありました。しかし、なんといっても、人とかかわる機会がなくなり、マスク姿での対面は人の印象を変えることになりました。特に就職活動に入っていた学生はウェブ面接への対応に苦労したと聞いています。極端なことを言えば、対面での集団面接を前提にマナーの指導をしていたものが、画面越しのウェブ面接では本当に自分のよさが伝わるのだろうか、自宅で面接を受けるのに雑音が入るのではないかと心配になった学生もあったと思います。そういう中で、キャリア育成センターでは、面接用ブースを設置し、安心して面接試験が受けられるように準備をしました。カメラの高さ照明の調整もできるようになっていましたので、東海地区で初めて取り入れた大学として紹介されました。

学長の任期の半分以上がコロナ対応の時間になりましたが、様々な部署から教職員が相談に訪れる機会が増えました。そのようなときに、ある教員が「困ったときに、いつも学長が学長室にいて、元気に出勤していることが、私たち教職員にとってどれだけ安心感を与えているか。ありがたいことだ。」と言ってくれました。私としては教職員が困難に立ち向かい、先の見えない状況の中で様々な工夫をしながら日夜頑張っていることに感謝しつつ、出勤していることを知らせることしかできないもどかしさを感じた毎日でした。

2022年3月31日で退任した時に第6波は終息する兆しが見えず、後ろ髪を引かれる思いで次の黒田由彦学長にバトンを渡すことになりました。これまでの12年を振り返り、人との出会いを大切にしてきたことのありがたさをかみしめているところです。

学長就任の挨拶

近年にない危機を打開するために

大学学長　黒田 由彦

このたび、後藤宗理前学長の後を受けて学長に就任しました黒田由彦です。これから4年間、歴史と伝統ある椙山女学園大学の一層の発展のために尽力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

就任に当たって最初に触れなければならないのは、このたびの入試結果です。残念ながら、2022年の入試は11学科中8学科が定員割れとなりました。そのうち4学科が80%にとどかず、さらにそのうち2学科は60%を割るという状況です。全学的にはぎりぎり90%をキープしてはいますが（2022年3月29日時点）、競合大学がコロナ禍の影響から立ち直る気配を示すなかで、当大学の厳しさが目立つ結果となりました。

この状況を打開するために、定員確保が特に厳しい状況にある学部を主たる対象として、すでに再編の動きが始まっています。その動きをさらに推進して確かなものにしなければなりません。安定的な定員確保を回復させるためには、前例にとらわれることなく、教職員が一丸となって取り組むことが求められています。

対応を迫られているのは定員確保だけではありません。コロナ禍は時計の針を10年進めたと言われています。たとえば遠隔授業や遠隔会議がここまで当たり前になることを、2年前に誰が想像できたでしょう。教育の在り方自体、教授型からコーチ型への転換が進んでいます。「主体的・対話的で深い学び」をさらに深化拡大させることが求められているのです。

椙山女学園大学は、学園の教育理念「人間になろう」に基づく人間形成と教育内容によって、東海地方の伝統ある女子の高等教育機関として役割を果たしてきました。これからも社会から期待され、受験生とその父母等から選ばれる大学であり続けるために、教育の質保証、学修支援、学生生活支援、キャリア支援、社会連携等々、様々な面で改革を適切に実行していくことが必要です。関係者の皆様のご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

理事長就任の挨拶
学長退任の挨拶・学長就任の挨拶
校長就任の挨拶
令和4年度事業計画書
学園ニュース
理事会・評議員会の議題・報告事項
学園規程の変更
人事・顕彰・訃報
NEW FACE
令和4年度入試の状況
学園行事予定・編集後記

校長就任の挨拶

生徒の知性、個性、豊かな心を養うことをめざして

高等学校・中学校校長
深谷 和義

この4月から椙山女学園高等学校長兼中学校長に就任いたしました深谷和義です。以前、愛知県立の高等学校に勤めた経験はあるものの、伝統と実績のある椙山女学園高等学校・中学校の校長としての職務を遂行する責任の重さをひしひしと感じております。もとより微力な者ではありますが、生徒の可能性を信じ、より良い成長を実現するために、教職員の方々と共に全力を尽くす所存です。

近年、社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0時代」を迎えることで、教育の在り方も大きく変化しようとしています。「令和の日本型学校教育」では、「個別最適な学び」「協働的な学び」が必要とされています。その実現のためには、基盤的ツールとしてのICTや先端技術を効果的に活用することなどが重要になります。

しかしながら、子どもたちの知・徳・体を一体で育む従来の「日本型学校教育」は諸外国からも高く評価されており、それらも「令和の日本型学校教育」の構築には当然含まれています。従来からの教育と新たな教育の双方の良さを適切に組み合わせて生かしていく必要があります。

本校は、今日まで100年以上にわたって女性の自立・自活のための教育に貢献しているという多大な実績があります。また、これまで積み重ねてきた人間教育の伝統と地域社会からの信頼に基づいて、生徒の将来の社会進出を見据え、進路希望に沿った学びの場を提供しています。学校での授業、個性的な独自教育、多種多様なクラブ活動や充実した年間行事などを通じて、生徒の知性、個性、豊かな心を養うことをめざしています。

「人間になろう」という学園の教育理念を基盤として、これまでの成果をもとに、さらに今日の社会情勢・教育情勢をも踏まえたうえで、本校ならではの教育を創り続けていきたいと考えております。関係者の皆様のご理解・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

校長就任の挨拶

自立し、協働し、そして行動できる子どもの育成を目指して

小学校校長
相川 保敏

この4月より、附属小学校長に任命されました教育学部の相川保敏と申します。昨年度より椙山女学園大学でお世話になっております。再び小学校の校長に就任できる機会をいただけたこと、伝統と先取の気風をもつ本小学校に関わらせていただけることを大変嬉しく思います。微力ではございますが、子どもたちの笑顔のために全力で取り組んで参ります。

さて、社会が急激に変化し「予測困難な時代」と言われる今日、新型コロナウイルス感染拡大はもとよりロシアのウクライナ侵攻を目の当たりにし、まさにこうした指摘が現実のものとなりました。今後も、正解が見出せない複雑化、多様化した課題に直面することが増えると予想されます。しかし、「正解」が分からない課題に対しても、自分事ととらえ、多様な人々が納得できる解を見出し、行動していくことが求められます。

本校では、こうした社会対応するために「自立と協働」をテーマに掲げて、一人一人が自分の頭で考えて行動し、集団の中で意見を交流し合い、これまでにない考え、異質な考え、文化的基盤の異なる考えを融合させながら、方向性を決めていく力を育成する教育を進めています。「自立と協働」は、「ひとを大切にできる人間」「ひとと支えあえる人間」「自らがんばれる人間」の育成を目指す、当学園の教育理念「人間になろう」とも結びついています。

この他にも本校では、「英語教育」「ICT教育」「国際交流・社会貢献活動」など、今必要とされる教育活動をいち早く取り入れるとともに、学んだことを生かせる実践の場を設けて、子どもたちの主体的な「行動」を支えるようにしています。

今後、これまで取り組んできた教育活動が色あせないように充実・発展させるとともに、保育園から大学院までの一貫校としての特色を生かした新たな教育活動を工夫していきたいと考えているところです。普遍的で先進的な教育理念のもとで、これからの時代を切り拓いていく人間の育成に、職員一同全力で努めて参ります。

関係の皆様には、さらなるご指導ご支援を賜れますよう、お願い申し上げます。

学校法人椙山女学園　令和4年度事業計画書

椙山女学園の「人間になろう」という教育理念は、人間とは何かを深く考え、人間性の復権、人類の協力と連帯を目指す人間、「人間」という目標に向かって主体的に実践する人間を目指して、初めて意義をもちます。このような普遍的な教育理念の具現化を図るため、令和元年11月29日に制定した本学園の事業に関する中期的な計画に基づき、令和4年度の事業計画を次のとおり策定しました。

令和4年度事業計画作成にあたって

教職員一同、学園の教育理念「人間になろう」を念頭に置き、以下の基本方針を掲げて事業を行う。

①女子総合学園、女子総合大学のメリットを生かす一貫教育、連携教育を行い、教育ならびに研究の充実を図る。

②女子教育の意義を明確にしながら、コロナ禍においても、教育の質の維持・向上を担保し、時代に合った人材育成を進めていく。

③少子化に対応できる積極的な経営を貫いて健全な財政を樹立し、経営の安定化を図る。

④教職員が協働することにより、一体感のある風通しの良い学園運営を行う。

学園に関する事項について

大学の学部改組に向けた準備・対応

国際コミュニケーション学部、人間関係学部および文化情報学部の改組に係る準備委員会および同準備室を中心に、教育課程や授業科目の策定を重点的に行い、届出設置に向けて準備を進める。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み

各学校(園)において感染症対策を徹底しながら、対面授業や保育を行い、学びや体験活動の機会を確保する。大学においても、対面授業を基本とし、遠隔授業や学習管理システムを併用しながら学修効果を高めていく。高等学校・中学校では新入生全員にICT端末のリースや購入を求め、オンライン学習環境を整える。

中長期計画に基づく大学改革を推進

大学の中長期計画に基づき、大学改革アクションプランや、自己点検・評価に基づく改善計画書に示された行動計画などの実行に当たり、大学運営会議を中心に、各学部教育内容検討会議や各種委員会、関係事務局などが連携協力しながら、大学改革を加速させる。

学園の社会的責任

教育の内部質保証のための取り組みとして、幼児教育の充実、質の高い学びを実現する教育環境の整備、各学校段階における継続的な検証改善サイクルの確立などに必要な体制の整備を進める。また、各学校(園)間における連携協力を更に深め、総合学園の強みを生かした教育環境および組織体制の整備を継続して行う。また、各学校(園)のWebサイトや「大学ポートレート」を活用し、教育情報の公表を行う。

IRに関する取り組み

大学IR室では、大学教育および大学生活の効果測定の指標ともなる卒業時の「学生総合満足度調査」および新入生対象の「大学生活に関する入学時意識調査」を実施する。また、他大学との比較分析を行うため、24大学で実施する「ALCS学修行動比較調査」に参加し、相対的、客観的な観点で本学の現状把握を行う。

人事・労務に関する計画

勤務時間の適正管理に向けて、勤怠管理の新たな制度を確立する。また、SD委員会が主体となり、SD研修会などを実施する。

広報活動計画

令和6年度に予定している学園および各学校(園)のWebサイトのリニューアル準備を進める。広報効果が最大限生かせるよう、他部署とも連携を図り、情報の共有・発信を行う。

施設設備計画

ファシリティマネジメント中期計画に基づき、施設設備の不具合の改修を中心に、設備の更新、講義室などの照明のLED化、外壁・漏水改修を行う。

財務計画

理事長方針である積極的な経営に資する事業、計画的な施設設備の改修事業を厳選し、予算を編成する。補助金対象事業、寄付金事業の充実を図る。

保育園

本学園の教育理念に則り、人間形成の基礎を培い、乳児の健やかな成長にふさわしい環境を整え、保育指針に基づいた保育を展開する。また、併設のこども園や幼稚園と連携を図り、より良い保育をめざす。

大学に関する事項について

中長期計画

大学の中長期計画のもとで、女性のライフステージを意識し、「トータル・ライフデザイン」を主導コンセプトに教育研究を展開する。

教育事業

全学共通科目「人間論」は、「自校教育」「大学での学び・キャリア教育」「学問的人間論」から構成する内容で、開講曜日・時限、内容、テキストを全学共通化し、実施する。キャリア教育については、トータル・ライフデザイン教育の認知度を高めるとともに「人間論」および教養教育科目「女性とキャリア」の教育内容の充実に向けた検討を進める。また、教員の資質向上のため、FD研修会や授業アンケートによる授業改善などを推進する。

学生生活支援

より充実した奨学金制度の整備および運用を行う。また、「要支援学生」の更なる支援のため、学生相談室および学修・生活指導教員などによる支援体制を強化する。就職支援・キャリア支援については、コンピテンシーテストおよび学修ポートフォリオの活用検討などを継続するとともに、低学年からのキャリア教育の構築と3・4年生の進路支援の充実を図る。

研究事業

個人研究費、学園研究費、大学活性化経費などの研究費を配付するとともに、科学研究費助成事業などの外部研究資金の獲得支援を行う。また、Webサイトで教育研究業績を公開、「椙山女学園大学学術機関リポジトリ」において論文などの研究・教育成果を公開する。

国際交流

新たな国際化ビジョンに沿って、国際交流を推進する。交換・派遣留学の再開に向けて、本学の渡航基準に沿って実施するとともに、新規協定校の開拓を行う。

学術情報

図書館では、コロナ禍で非来館型サービスとして電子書籍が注目されていることから、オンラインジャーナルも含めた電子資料の充実を図る。

社会貢献・連携事業

社会連携に関する活動を組織的に支援し、

連携事業の成果の蓄積を行うとともに、近隣の自治体や産業界との連携協力をこれまで以上の強化を図る。

高大接続

高大連携協定校を対象に、模擬授業や入試相談会、キャンパスツアーを行う。また、併設校とは一層の連携強化のため、定期的に高大連絡協議会を開催し、相互の情報を密に交換する。

学生募集・入試改革

早期から接触者の確保を図るため、プレオープンキャンパスの開催を検討するなど、コロナ禍でも感染症対策を万全にした上で学生募集に取り組む。入試情報サイトについても、情報提供および入学促進のため、魅力ある情報発信に努める。

管理運営

第3期の大学基準協会による認証評価結果を踏まえ、課題解決に向けた具体的な取り組みを行うとともに、学部・研究科に加え、大学全体の外部評価を実施し、年度末に「点検・評価報告書」を発行する。

高等学校・中学校に関する事項について

教育方針

中学校・高等学校6年間の学びにおける「学校ビジョン」に基づき、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」と「育てたい生徒像」の実現をめざし、授業内容の改善と生活指導の工夫と充実を図る。

教育活動

①生徒の自律的な学習習慣の確立と基礎学力の向上、②学習環境の充実とシラバスの作成、③教員の指導力の向上、④「人間になろう」の教育理念の下に行う特色ある教育を推進する。

生徒指導

生徒指導においては、生徒の主体性を高める場として、生徒会活動およびホームルーム活動を位置付け、その指導を行う。自律的生活習慣定着のための指導などにより、基本的な生活規律を確立する。

進路指導

高等学校では、年次指導計画に従って、進路意識の早期啓発から具体的な志望校・学部・学科選びまで、適性検査、校内模試などを利用した指導を行う。中学校では、併設高校への進学およびそれ以外の進路を希望する生徒に対し、適切な指導を行う。

キャリア教育

進路指導と併せて、早期から職業やキャリアについて考え、学習内容と将来の職業分野との関連を考察させる。高等学校では、大学のキャリア育成センターと連携した2年生対象のキャリアセミナーや、外部講師によるライフプランニング講座、看護師体験、インターンシップなどを実施する。

生徒募集計画

学園を取り巻く情勢や過去の入試結果を分析するとともに、入学生の追跡調査を行い、生徒募集計画に役立てる。

小学校に関する事項について

基本方針

教育理念「人間になろう」を教育の根幹におき、小学校校訓「強く、明るく、美しく」の具現をめざした教育を推進し、学校改革・改善を図る。

教育活動

学習指導要領に依拠しつつ、教育の内容を質的にも向上させ、「生きる力」の深化と定着に努める。全教科において指導法の改善を図るとともに、1年生から毎日、少人数編成で専任教諭などによる英語学習を継続する。さらに、グローバルコミュニケーション能力を高めるため、5・6年生希望者対象の短期語学研修やターム留学(4週間)については、コロナ禍の状況を踏まえて実施を検討する。また、1年生からiPadを活用し、ICT教育やプログラミング教育を行う。

生活指導

人に優しい、人の痛みのわかる心温かな情操の育成に努めるとともに、規則を守ってけじめある生活をし、誇りを持って行動できる児童を育成する。また、防災教育、安全教育を地域の協力を得て実施する。

キャリア教育

現代社会を生きる上で必要な資質・能力となるシチズンシップを育てるキャリア教育を推進する。

児童募集計画

入試時期や入試方法を検証するとともに、特色ある独自の授業について積極的に広報し、マスメディアを通じた情報発信や、Webサイトによる募集広報の充実を図る。

幼稚園に関する事項について

教育方針

本学園の教育理念「人間になろう」を根幹とし、伝統を継承し、新たな時代を見据えた幼稚園として、教育方針(①健康な心と体、②自己発揮、③人間関係力、④道徳性)に沿って充実した教育を行う。

教育目標・教育課程

①運動:身体を動かして遊ぶ楽しさや心地良さを知り、進んで体を動かそうとする意欲を持つ。
②食育:食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につけ、食べることを楽しみ、健康な体作りとのつながりを知る。収穫の喜びを知り、調理を通して食べ物への興味・関心を持ち、食べ物、食材を大切にする。
③人間関係:身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。
④環境:身近な環境に親しみ、自然と触れ合い、さまざまな事象に興味や関心を持つ。
⑤言葉:経験や考えを自分なりの言葉で表現するとともに、相手の言葉を聞く意欲や姿勢を持つ。
⑥表現活動(音楽):教師や友だちと一緒に歌やリズムなどの表現遊びを楽しむ。
⑦表現活動(制作):生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな素材・用具を使って、描いたり作ったりすることを楽しむ。

保護者との連携

保育参観、保育参加や各種懇談会などの保護者参加の行事を実施し、担任と保護者、保護者同士の交流を深める。

こども園に関する事項について

教育方針

本学園の教育理念「人間になろう」に基づき、また、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「環境を通して行う教育及び保育」の考え方を踏まえ、教育・保育方針(①健康な心と体、②人間関係力、③主体性、④自己表現)に沿って充実した教育を行う。

教育・保育目標

①0歳児の目標:生理的欲求を満たし、生活リズムをつかむ。
②1歳児の目標:行動範囲を広げ、探索活動を盛んにする。
③2歳児の目標:象徴機能や想像力を広げながら集団生活に参加する。
④年少児の目標:身近な仲間や自然などの環境と積極的に関わり、意欲を持って活動する。
⑤年中児の目標:信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする。
⑥年長児の目標:集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる。

保護者との連携

懇談会などの保護者参加の行事を実施し、担任と保護者、保護者同士の交流を深める。

GAKUEN NEWS 学園ニュース

学園

令和3年度 卒園式・卒業式

ご卒園・ご卒業
おめでとうございます。
ますますのご活躍を
お祈りします。

保育園 第7回卒園式

日 時 令和4年3月26日(土)
午前9時15分から

卒園児 11名

こども園 第3回卒園式

日 時 令和4年3月26日(土)
午前10時15分から

卒園児 28名

幼稚園 第75回卒園式

日 時 令和4年3月17日(木)
午前8時55分から(3部制)

卒園児 88名

小学校 第65回卒業式

日 時 令和4年3月16日(水)
午前9時30分から(3部制)

卒業生 89名

中学校 第75回卒業証書授与式

日 時 令和4年3月18日(金)
午前10時05分から

卒業生 231名

高等学校 第74回卒業証書授与式

日 時 令和4年3月1日(火)
午前10時00分から

卒業生 383名

大学・大学院 令和3年度 大学院学位記並びに 大学卒業証書学位記授与式

日 時 令和4年3月15日(火)
午前10時30分から(午前の部)
午後2時30分から(午後の部)

修了・卒業生 1,431名
(内訳:大学院 11名
大学(学部) 1,420名)

学園

令和4年度 入園式・入学式

ご入園・ご入学
おめでとうございます。
健康で充実した
学園生活を送ってください。

保育園 令和4年度入園式

日 時 令和4年4月9日(土)
午前9時30分から

入園児 13名

こども園 令和4年度入園式

日 時 令和4年4月9日(土)
午前10時30分から

入園児 25名

幼稚園 令和4年度入園式

日 時 令和4年4月8日(金)
午前9時25分から(4部制)

入園児 81名

小学校 令和4年度入学式

日 時 令和4年4月5日(火)
午前9時15分から(3部制)

入学生 85名

中学校 令和4年度入学式

日 時 令和4年4月6日(水)
午前10時00分から

入学生 206名

高等学校 令和4年度入学式

日 時 令和4年4月6日(水)
午後1時00分から

入学生 383名

大学 令和4年度入学式

日 時 令和4年4月3日(日)
午前11時00分から(午前の部)
午後2時30分から(午後の部)

入学生 1,245名
(内訳:大学院 19名
大学(学部) 1,226名)

GAKUEN NEWS 学園ニュース

理事長就任の挨拶
理事長退任の挨拶 学長退任の挨拶 学長就任の挨拶
校長就任の挨拶
令和4年度事業計画書
学園ニュース
理事会・評議員会の議題・報告事項
学園規程の変更
人事・顕彰・訃報
NEW FACE
令和4年度入試の状況 学園行事予定・編集後記

学園 年誌『椙山人間学研究2021』発刊

椙山人間学研究センター

令和3年度の椙山人間学研究センターの活動をまとめた年誌『椙山人間学研究2021』を令和4年3月に発刊し、学内および学外の皆さまに配付しました。

今回で第17号を迎えた年誌には、「動物と人間」を年間テーマとして年4回にわたり開催した「人間講座」と、その全4回のコメンテーターである日本野鳥の会会長であり、立教大学名誉教授の上田恵介氏を講師に招いて開催した「椙山フォーラム」の内容、5つのプロジェクト研究(「総合人間論」「環境と人間」「子どもの発達をつなぐ」「プログラミング教育」および公募プロジェクト「虐待を受けた子どもへの教育指導経験蓄積のための枠組みの構築」)の研究成果のほか、2本の寄稿を掲載しています。

当センターが刊行するこの年誌においては、人間にまつわるさまざまな考察が行われています。ぜひ、ご一読いただき、皆さまの人間理解の一助として、また、新たな時代への指針としてご利用いただけましたら幸いです。ご入用の際は必要部数を企画課(椙山人間学研究センター担当)までご連絡ください。

学園 歴史文化館企画展「寄贈品展ー思い出の回廊ー」を開催しています!

歴史文化館

歴史文化館では、7月29日(金)まで毎週水曜日と金曜日に「寄贈品展」を開催しています。開館以来、卒業生、旧教職員、そしてご遺族の方々から数多くの貴重な資料を寄贈していただきました。また、歴史文化館の開館以前に寄贈していただいた資料も数多くあることから、これらを合わせてデータベース化し、その中から寄贈者の思いを伺い知ることのできるものを中心に展示いたしました。

展示会場では、主として3つのテーマ(「写真に見る学園の足跡」「教材・教具に見る教室の思い出」「学園グッズに見る記憶の回廊」)に沿って展示を行っています。また、寄贈者ご本人から思い出話をお寄せいただき、説明板(キャプション)に掲載しましたので、それぞれの時代に、そこで過ごした学生、生徒、児童、園児たちの姿に思いを馳せながらご覧いただければと思います。この機会に是非ご来館ください。

大学・小学校 「栄養指導バイキング給食」でバランスのよい食事を楽しくおいしく学ぼう!

2月9日(水)、生活科学部管理栄養学科の学生が、附属小学校6年生を対象に、バイキング給食を用いて栄養指導をする「栄養指導バイキング給食」を、新型コロナウイルス感染症対策を万全に心がけたうえで行いました。

バイキングに並ぶのは、管理栄養学科の栄養教育論研究室の学生が過去に考案した中で児童に好評だったメニュー。主食・主菜・副菜・汁物から各1品選ぶと、どの組み合わせでも学校給食摂取基準のエネルギー量である570kcalに近い値となる工夫がされています。栄養教育では、「バランスの良い食事」について媒体を使用しながら「成長期の皆にとってバランスのよい食事はとても重要。日頃から意識してほしい」と呼びかけました。そのうえで児童たちは、主食・主菜・副菜の置く場所が一目で分かる学生オリジナルの「ランチョンマット」を使いながら、手際よくバランスのよい組み合わせを選び、バランスのよい食事について楽しくおいしく学びました。

学園 令和3年度学園表彰を実施

3月23日(水)、令和3年度学園表彰が行われました。

表彰式では、森棟公夫理事長から表彰状と記念品が贈呈され、「これからも人生を楽しみながら頑張ってください」と期待を込めた言葉を送りました。

【令和3年度学園表彰 表彰者】

今井 里奈さん(心理学科3年)
オリエンテーリング部所属
「2021年ジュニア世界オリエンテーリング選手権大会(JWOC)」に日本代表として出場

※表彰時の学年で表記

大学 令和3年度特別活動奨励賞表彰式を行いました

3月23日(水)、令和3年度特別活動奨励賞の表彰式が行われました。これは、学生の学業および学業以外の活動に対する熱意高揚を図ることを目的に制定され、令和3年度は、研究活動、文化・芸術活動、スポーツ活動で、顕著な功績を残した8名が特別活動奨励学生として表彰されました。

表彰式では、後藤宗理学長が受賞者に表彰状を授与し、「他の学生のお手本となるよう、皆さんの向上心を高めて頑張ってください」と期待を込めた言葉を送りました。

受賞者および活動の実績は、以下のとおりです。

【令和3年度特別活動奨励賞】

松浦 佳瑚さん(管理栄養学科2年)
「2021年度東海学生卓球秋季リーグ」2部　女子敢闘賞受賞

堀尾 歩見さん(表現文化学科3年)
「未来国会2021」愛知県大会で、「日本で生理がタブー視されている現状」をテーマに発表し、オレンジチームとして準優勝。

今井 里奈さん(心理学科3年)
①「2021年ジュニア世界オリエンテーリング選手権大会(JWOC)」に日本代表選手として出場
②「2021年度U-20」にジュニア強化選手として選出
③「2022年アジアジュニアオリエンテーリング選手権大会(AsJYOC)」日本代表選手として選出
④「2021年度東海学連ミドルセレクション」優勝

館林 千鶴子さん(メディア情報学科3年)
①「第47回バトントワーリング東海大会」一般部門Openの部1位
②「第49回バトントワーリング全国大会」一般部門Openの部優秀賞
以下の各大会でも優秀な成績を収めた。
・「第46回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会」
・「第46回全日本バトントワーリング選手権」 ・「第46回バトントワーリング東海支部大会」

古橋 実可子さん、永田 千夏さん、森田 早紀さん(現代マネジメント学科3年)
「わが国の金融・経済への提言」をテーマにした日銀グランプリで、最終審査5件に選出され、「教育投資信託による老後資金の運用で世代間の交流を図る」で優秀賞を受賞。

笹野 はな香さん(子ども発達学科2年)
「2020年ドバイ国際博覧会」で開催された「ジャパンデー」に、日本代表として日本舞踊を披露。
アルゼンチン奏者とのコラボレーションも行い国際交流に貢献。

※表彰時の学年で表記

大学 岐阜県山県市の特産品を使ったスイーツを開発

管理栄養学科の大口健司教授の研究室が、岐阜県山県市にある四国山香りの森公園および香り会館(以下、香りの森公園)、山県市と連携し、スイーツを開発する産官学連携に取り組みました。

山県市および関係セクションから山県市の特産品であるブルーベリーをシーズン問わず、年間を通して味わっていただき、県外へPRできないかと、岐阜県出身の大口教授に相談があり、夏に収穫し冷凍保存されたブルーベリーを使用したスイーツの開発が始まりました。

大口研究室に所属する3年生10名は、それぞれ企画書を提出し商品を提案。約30種類の案の中から老若男女が好むパイを選定し、味はもちろん、見た目のインパクトなどを意識しながらブラッシュアップを重ね、新商品「溢れる香りのサファイア フローズンブルーベリーパイ」を開発。学生の意見をもとに名づけられたこの商品名は、パイを宝石箱に見立て、サファイアのように輝く森のブルーベリーを表現しています。

「溢れる香りのサファイア フローズンブルーベリーパイ」は現在、香りの森公園内にあるカフェ「ハーブレンド」で販売しています。

GAKUEN NEWS 学園ニュース

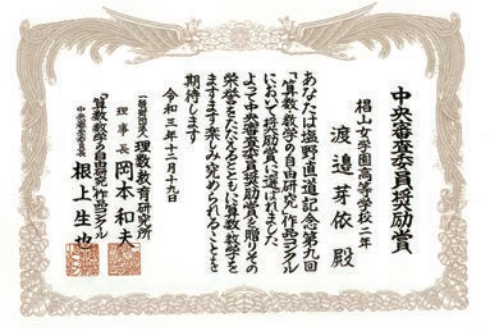
高等学校 塩野直道記念 第9回「算数・数学の自由研究 作品コンクール」高等学校の部で、中央審査委員奨励賞を受賞

塩野直道記念「算数・数学の自由研究 作品コンクール」は、日常生活や学校で学んでいる時に感じた疑問や課題を、算数・数学の力を活用して探究し、気づいたことやわかったことをレポートにまとめる自由研究の作品コンクールです。今回は、小学校、中学校、高等学校あわせて17,429作品の応募がありました。

本校では、高校2年生が夏休みの宿題として取り組み、2年生の渡邊芽依さんが、中央審査委員奨励賞を受賞しました。

渡邊さんは、会員制スーパーのポイント還元について、年会費とポイント還元が購入金額によってどのように変わるのかを調べ、お得に利用する条件を考えました。

※受賞時の学年で表記

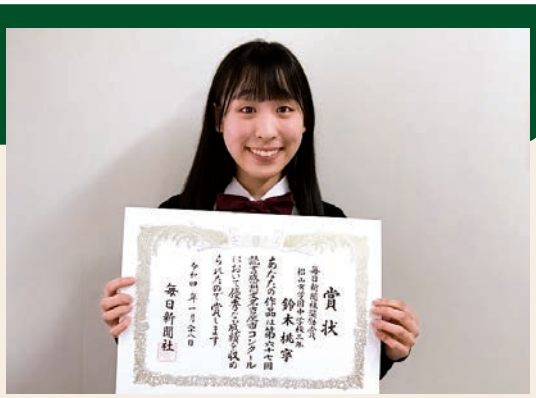


中学校 読書感想文コンクールで毎日新聞社奨励賞を受賞

本校では毎年夏に、校内読書感想文コンクールを実施し、優秀作を名古屋市読書感想文コンクールに応募しています。3年生の鈴木桃寧さんは、課題図書『アーニャは、きっと来る』の感想文で、夏の校内読書感想文コンクールの最優秀賞を受賞。

また、第67回青少年読書感想文名古屋市コンクールにおいて、毎日新聞社奨励賞を受賞しました。

※受賞時の学年で表記



小学校 なわとび大会を開催

1月31日(月)～2月2日(水)、クラスごとに「なわとび大会」を行いました。

今年で55回目を迎え、新春の恒例行事となっているこの大会は、寒さに負けない強い体づくりと、互いに教え合い、協力しながら技術の習得と向上をめざすことを目的としています。

本校では、種目跳びのレベルを10級(じゃんけんとび)から特9級(側回旋・二重あやとび16回)、名人(三重回しとび10回)までの20段階に分け、級別表を使って、児童が自発的に活動できるようにしています。

当日は、音楽に合わせて種目跳びにチャレンジし、児童たちは練習の成果を発揮しようと、友だちの応援や拍手を受けて懸命に跳び続けました。

幼稚園・保育園 優良防火管理事業所として表彰を受けました

1月21日（金）、幼稚園と保育園が、優良防火管理事業所として、千種消防署から表彰を受けました。これは、事業所全体で防火管理業務を積極的に遂行し、その功績が特に優れた事業所に贈られるものです。

幼稚園と保育園は、管理者および統括責任者として、今後も引き続きしっかりと防火管理業務を行い、安心・安全な環境を維持していきます。

こども園 ひなまつりを楽しみました！

3月1日（火）、一足早くひなまつりを楽しみました。

子どもたちは、ホールに飾られた七段飾りのひな人形を見たりしながらこの日を楽しみにしてきました。

はじめに、「うれしいひなまつり」を歌いながら、きらきらと輝くブラックライトシアターを楽しみました。ブラックライトシアターを観終わると椙山こども園のお内裏さまとおひなさまが登場し、子どもたちは大喜び！あいさつの後、お内裏さまのピアノの演奏で「うれしいひなまつり」を披露しました。

最後に、お内裏さまとおひなさまは、子どもたちが元気に大きくなったことのお祝いのお菓子を手渡し、子どもたちはうれしそうに受け取りました。子どもたちは「さようなら。また来てね！」とお別れし、大満足の様子でした。

保育園 お別れ会を行いました

3月16日（水）、春らしいポカポカした陽気の中、ぶどう組のお別れ会を行いました。

ちえこばぁば（上野 智恵子園長先生）、桃太郎（吉村 真優加先生）、犬（後藤 日菜先生）、猿（小栗 真紀先生）、鬼（賴金 愛奈先生）が劇、いやミュージカルと呼ぶにふさわしい『ももたろう』を演じました。鬼の登場シーンでは、白熱の演技のあまり泣き出す園児もいました。また、桃太郎と鬼が戦う場面では、みんなで桃太郎を応援。最後は、桃太郎と鬼が仲良くなりました。

和やかな雰囲気の中、思い出に残るお別れ会となりました。

理事長就任の挨拶
理事長退任の挨拶 学長退任の挨拶 学長就任の挨拶
校長就任の挨拶
令和4年度事業計画書
学園ニュース
理事会・評議員会の議題・報告事項
学園規程の変更
人事・顕彰・訃報
NEW FACE
令和4年度入試の状況 学園行事予定・編集後記

理事会・評議員会の議題・報告事項（1月～3月）

1月 定例理事会（R4.1.21） JANUARY

議題

・学部改組に関する件
・令和4年度新規事業予算に関する件
・令和4年度奨学金予算額に関する件（大学院奨学金、大学貸与奨学金、看護学部奨学金、大学同窓会奨学金、学園同窓会奨励金）
・育児休業等に関する規程の一部改正に関する件
・介護休業等に関する規程の一部改正に関する件
・椙山女学園大学学則の一部改正に関する件
・椙山女学園大学大学院学則の一部改正に関する件
・椙山女学園高等学校学則の一部改正に関する件
・椙山女学園中学校学則の一部改正に関する件
・高等学校等外国人英語講師規程の一部改正に関する件
・椙山女学園大学附属椙山こども園給与規程の一部改正に関する件
・椙山女学園大学附属保育園給与規程の一部改正に関する件
・椙山女学園大学附属椙山こども園非常勤職員就業規則の一部改正に関する件
・椙山女学園大学附属保育園非常勤職員就業規則の一部改正に関する件
・人事に関する件
・その他

報告事項

・令和4年度奨学金予算額について（大学教育ローン利子補給奨学金、大学受入交換留学生特別奨励金、大学奨励賞、大学石間奨学金）
・椙山女学園大学の全学的な自己点検・評価結果（2021年度実施）について
・2021年度オープンスクール等来場者数について
・2022年度入試状況等について（大学、小）
・令和3年度就職内定・進路状況について
・理事会日程について
・寄付について
・人事について
・その他

2月 定例理事会（R4.2.18） FEBRUARY

議題

・私大協役員賠償責任保険制度の更新・新規加入に関する件
・育児休業等に関する規程の一部改正に関する件
・介護休業等に関する規程の一部改正に関する件
・期末手当に関する規程の一部改正に関する件
・私傷病による療養休暇及び休職に係る取扱いの見直し関係
・学校法人椙山女学園就業規則の一部改正に関する件
・椙山女学園給与規程の一部改正に関する件
・期末手当に関する規程の一部改正に関する件
・椙山女学園大学大学院の目的に関する規程の一部改正に関する件
・椙山女学園大学学則の一部改正に関する件
・椙山女学園履修費等の種類及び額を定める規程の一部改正に関する件
・椙山女学園中学校学則の一部改正に関する件
・椙山女学園大学附属椙山こども園給与規程の一部改正に関する件
・椙山女学園大学附属保育園給与規程の一部改正に関する件
・人事に関する件
・その他

報告事項

・椙山女学園大学研究活動における不正行為への対応等に関する規準の一部改正について
・椙山女学園大学における人を対象とする研究倫理指針の制定について
・椙山女学園大学人間関係学部履修規準の一部改正について
・椙山女学園大学教育学部履修規準の一部改正について
・令和3年度科学研究費補助金の採択結果について
・2022年度入試状況等について（大、高、中）
・令和3年度就職内定・進路状況について
・寄付について
・人事について
・その他

3月 定例理事会（R4.3.25） MARCH

議題

・評議員の選出に関する件
・令和4年度事業計画に関する件
・令和4年度予算に関する件
・学部改組における自己都合等による退職者の補充人事に関する件
・椙山女学園顧問規程の一部改正に関する件
・期末手当に関する規程の一部改正に関する件
・私傷病による療養休暇及び休職に係る取扱いの見直し関係
・学校法人椙山女学園就業規則の一部改正に関する件
・椙山女学園給与規程の一部改正に関する件
・期末手当に関する規程の一部改正に関する件
・大学院手当額の調整に関する件
・椙山女学園大学附属椙山こども園給与規程の一部改正に関する件
・椙山女学園大学附属保育園給与規程の一部改正に関する件
・2023年度学生募集要項に関する件（大）
・人事に関する件
・その他

報告事項

・令和3年度資金運用委員会報告について
・個人情報保護委員会報告について
・「次世代育成支援対策推進法」に基づく一般事業主行動計画について
・椙山女学園大学厚生労働科学研究等における利益相反マネジメント委員会規準の制定について
・椙山女学園大学における内部質保証に関する方針の一部改正について
・国際化ビジョンの制定について
・2022年度入試状況（大、高、中、小、幼）について
・令和3年度就職内定・進路状況について
・特別活動奨励表彰について
・寄付について
・人事について
・その他

3月 定例評議員会開催（R4.3.18） MARCH

議題

・第1号議案　令和4年度事業計画に関する件
・第2号議案　令和4度予算に関する件
・第3号議案　その他

学園規程の変更

1月 1月通知分（全12件） JANUARY

表　題	区分	説　明	制改廃日	施行日
椙山女学園大学大学院学則の一部を改正する学則	一部改正	①大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第25条第2項の規定及び大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条に定める大学設置基準準用の規定に基づき、多様なメディアを高度に利用して、授業を教室等以外の場所で履修できることを定める。【第6条の2】 ②別表第1−1（生活科学研究科食品栄養科学専攻（修士課程））を改める。 ③別表第1−4（人間関係学研究科人間関係学専攻（修士課程））を改める。 ④別表第1−6（教育学研究科教育学専攻（修士課程））を改める。	R4.1.21	R4.4.1
椙山女学園高等学校学則の一部を改正する学則	一部改正	令和4年4月1日施行の高等学校学習指導要領に対応するため、これまで本校が大切にしてきた教育理念を維持しつつ、高校3年間で四年制大学進学後も主体的に学び続けるために必要な基礎学力を無理なく定着させることを目指し、各学年の修得単位数を32単位とし、新たな教育課程を編成する。 令和4年度入学生に係る表を新設するとともに、令和2年度入学生に係る表及び令和3年度入学生に係る表中、一部の科目及び単位数を見直す。 また、令和元年度入学生が卒業し、在籍者がいなくなるため、当該入学生に係る表を削る。	R4.1.21	R4.4.1
椙山女学園中学校学則の一部を改正する学則	一部改正	中学校では、令和2年度入学生から道徳の時間数を70時間から35時間に、特別活動の時間数を35時間から70時間に変更して運用している。本来であれば、令和2年学則第4号の学則改正の際に当該変更に係る改正をすべきところ、改正がなされていなかったことが判明したため、令和2年4月1日に遡って改正する。	R4.1.21	R4.1.21 （R2.4.1適用）
椙山女学園大学附属椙山こども園非常勤職員就業規則の一部を改正する規則	一部改正	本規程の条文と椙山女学園大学附属椙山こども園給与規程の別表の整合性をとるため関係条文を整理する。	R4.1.21	R4.1.21
椙山女学園大学附属椙山こども園給与規程の一部を改正する規程	一部改正	名古屋市の民間社会福祉施設職員給料表等の改定を受け、別表第5の期末勤勉手当に係る規定を改める。	R4.1.21	R4.1.21 （R3.12.1適用）
椙山女学園大学附属保育園非常勤職員就業規則の一部を改正する規則	一部改正	椙山女学園大学附属保育園給与規程の改正（平成28年規程第12号）の際、本規程第29条で規定している別表が改正されたが、本規程の改正をしていないことが判明したため、規程間の整合性をとるため関係条文を整理する。	R4.1.21	R4.1.21
椙山女学園大学附属保育園給与規程の一部を改正する規程	一部改正	名古屋市の民間社会福祉施設職員給料表等の改定を受け、別表第5の期末勤勉手当に係る規定を改める。	R4.1.21	R4.1.21 （R3.12.1適用）
高等学校等外国人英語講師規程の一部を改正する規程	一部改正	令和4年4月1日から、高等学校及び中学校における1時限あたりの実時間数を47分から50分に変更することに伴い、関係別表を改める。	R4.1.21	R4.4.1
通称名の使用に係る取扱い要綱の一部を改正する要綱	一部改正	出勤簿については、戸籍名と通称名を併記することとしていたが、通称名のみを表記することに改める。	R3.12.14	R4.4.1
椙山女学園高等学校及び椙山女学園中学校に勤務する専任教育職員にかかる勤務時間及び休憩時間について（通達）	廃止制定	令和4年4月1日から、高等学校及び中学校における1時限あたりの実時間数を47分から50分に変更することに伴い、休憩時間を改める。	R3.12.16	R4.4.1

他2件

2月 2月通知分（全10件） FEBRUARY

表　題	区分	説　明	制改廃日	施行日
椙山女学園大学学則の一部を改正する学則	一部改正	①民法の一部を改正する法律（平成29年法律第44号）に対応するため、本学における保証人の役割、保証内容等を明確にすることを目的として「椙山女学園大学保証人に関する取扱規程」を制定することに伴い、第12条から第14条までの条文を整備する。【第12条、第13条、第14条】 ②大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第25条第2項の規定に基づき、多様なメディアを高度に利用して、授業を教室等以外の場所で履修できること、及び、同基準第32条第5項の規定に基づき、当該授業方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち60単位を超えないものとすることを定める。【第19条、第20条】 ③教育学部に、特別支援学校教諭一種免許状（免許状に定められることとなる特別支援教育領域：知的障害者、肢体不自由者及び病弱者に関する教育）に係る教職課程を設置し、関係カリキュラムを整備する。【第24条、別表第4（教育学部子ども発達学科）】 ④栄養士免許に係る法令名について、直接的に所定科目の教育内容及び単位数を規定している法令名に修正する。【第25条】 ⑤別表第4（生活科学部管理栄養学科）を改める。 ⑥別表第4（人間関係学部人間関係学科及び心理学科）を改める。 ⑦別表第4（教育学部子ども発達学科）を改める。 ⑧別表第7（教育職員免許状取得に関する科目）を改める。 ⑨別表第13（生活科学部）を改める。 ⑩別表第14（栄養士課程履修証明書）を改める。	R4.1.21 R4.2.18	R4.4.1
椙山女学園中学校学則の一部を改正する学則	一部改正	高等学校教育及びその後の教育との円滑な接続を図り、主体的に学び続けるために必要な学力を無理なく定着させることを目指し、国語、社会、外国語（英語）及び特別活動の授業時間数を見直し、各学年の総授業時間数を1,190時間から1,120時間に改める。 これに伴い、現行の教育課程表を削り、「令和2年度入学生」、「令和3年度入学生」及び「令和4年度以降入学生」に係る表を追加する。	R4.2.18	R4.4.1
育児休業等に関する規程の一部を改正する規程	一部改正	「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部改正（令和4年4月1日施行）に伴い、有期雇用労働者の育児休業取得要件の緩和に対応するため、関係条項を改める。	R4.2.18	R4.4.1
介護休業等に関する規程の一部を改正する規程	一部改正	「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部改正（令和4年4月1日施行）に伴い、有期雇用労働者の介護休業取得要件の緩和に対応するため、関係条項を改める。	R4.2.18	R4.4.1
椙山女学園履修費等の種類及び額を定める規程の一部を改正する規程	一部改正	①令和2年度入学生から社会教育主事資格課程を廃止したことに伴い、令和4年度から当該資格課程の履修者がいなくなるため、別表第1-1中社会教育主事資格取得履修費を削る。 ②令和4年度入学生から幼稚園教育実習費及び保育士課程履修費を改定する。 ③教育学部に、令和4年度入学生から、特別支援学校教諭一種免許状に係る教職課程を設置することに伴い、別表第1-1の備考1 教職課程履修費の規定に、当該教職課程を加える。	R4.2.18	R4.4.1
椙山女学園大学大学院の目的に関する規程の一部を改正する規程	一部改正	現在、人間関係学研究科人間関係学専攻（修士課程）は、臨床心理学領域、社会学領域、教育学領域の3領域で教育課程を構成しているが、令和4年度からは、社会学領域と教育学領域を廃止し、新たに人間共生領域を設け、2領域制とするため、大学院学則別表第1-4を改正したことに伴い、人間関係学研究科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的について整理する。	R4.2.18	R4.4.1
椙山女学園大学研究活動における不正行為への対応等に関する規準の一部を改正する規準	一部改正	「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」チェックリストの本学回答に対し、文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課 研究公正推進室から、「ガイドラインの求める体制整備等の状況（ガイドラインにおける重要項目）」に関し、不備が認められたとの指摘があり、『モデル規程』に沿って本規準の整備をするよう指示があったため、関係条項を改める。	R4.2.15	R4.2.15
椙山女学園大学教育学部履修規準の一部を改正する規準	一部改正	椙山女学園大学学則別表第4（教育学部子ども発達学科）の改正に伴い、関係条項及び関係別表を整備する。	R4.2.15	R4.4.1
椙山女学園大学人間関係学部履修規準の一部を改正する規準	一部改正	椙山女学園大学学則別表第4（人間関係学部人間関係学科及び心理学科）の改正に伴い、関係条項及び関係別表を整備する。	R4.2.15	R4.4.1
椙山女学園大学における人を対象とする研究倫理指針	制定	椙山女学園大学における学術研究のうち、人を対象とする研究を遂行する上で求められる研究者の行動及び態度について、倫理的指針に関する事項を定める。	R4.1.18	R4.1.18

3月 3月通知分（全7件） MARCH

表　題	区分	説　明	制改廃日	施行日
学校法人椙山女学園寄附行為の一部を改正する寄附行為	一部改正	私立学校法の趣旨を踏まえた理事会及び評議員会の運営及び議事録の取扱いに係る「学校法人寄附行為作成例（昭和38年3月12日私立大学審議会決定）」の改正（令和3年4月13日付け大学設置・学校法人審議会学校法人分科会決定）に基づき、本学園寄附行為を一部改正する。	R4.2.28	R4.2.28
椙山女学園顧問規程の一部を改正する規程	一部改正	令和4年4月1日から「特別顧問」の職を設けるため、関係条項を整備する。	R4.3.25	R4.3.25
椙山女学園大学附属椙山こども園給与規程の一部を改正する規程	一部改正	内閣府子ども・子育て本部が実施する「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業」に対応するため、新たに改善手当を設けることとし、関係規定を整備する。	R4.3.25	R4.3.25 （R4.2.1適用）
椙山女学園大学附属保育園給与規程の一部を改正する規程	一部改正	内閣府子ども・子育て本部が実施する「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業」に対応するため、新たに改善手当を設けることとし、関係規定を整備する。	R4.3.25	R4.3.25 （R4.2.1適用）
椙山女学園大学厚生労働科学研究等に係る利益相反マネジメント委員会規準	制定	椙山女学園大学学術研究倫理ガイドラインに基づき、椙山女学園大学の専任職員が、厚生労働科学研究その他公的研究の応募に当たり、本学で利益相反の管理を要する場合において、当該職員の利益相反を適切に管理し、利益相反による不利益の防止を図るため、本学に、利益相反マネジメント委員会を設置し、必要な事項を定める。	R4.3.16	R4.3.16
授業料等納付金取扱要領の一部を改正する通達	一部改正	椙山女学園大学保証人に関する取扱規程（令和3年規程第20号）の制定に伴い、様式第1号−1及び様式第2号−1の「保護者」を「保証人」に改める。	R4.3.4	R4.4.1
椙山女学園大学における人を対象とする研究倫理審査に関する申合せ	制定	「椙山女学園大学における人を対象とする研究倫理指針」第9条の規定に基づき、椙山女学園大学における人を対象とする研究倫理審査に関し、必要な事項を定める。	R4.3.16	R4.3.16

人事

学園

委嘱

椙山女学園顧問	椙山　美恵子	R4.4.1～R5.3.31
椙山女学園参与	小林　嗣明	R4.4.1～R5.3.31
椙山女学園歴史文化館長	椙山　美恵子	R4.4.1～R6.3.31
椙山人間学研究センター主任研究員	杉藤　重信	R4.4.1～R5.3.31

補職

椙山女学園オープンカレッジセンター長兼 椙山女学園大学社会連携センター長	藤岡　阿由未	R4.4.1～R5.3.31
学園情報センター長兼 椙山女学園大学大学情報教育開発センター長	米田　公則	R4.4.1～R6.3.31
椙山女学園アフタースクール長	石川　浩之	R4.4.1～R5.3.31

大学院

大学院担当

生活科学研究科修士課程	古田　真司	R4.4.1
人間関係学研究科修士課程	小倉　祥子	R4.4.1
人間関係学研究科修士課程	金南　咲季	R4.4.1
人間関係学研究科修士課程	松浦　直毅	R4.4.1
人間関係学研究科修士課程	三浦　隆宏	R4.4.1
人間関係学研究科修士課程	吉田　あけみ	R4.4.1
現代マネジメント研究科修士課程	都築　治彦	R4.4.1
教育学研究科修士課程	塩澤　友樹	R4.4.1
教育学研究科修士課程	松村　齋	R4.4.1

補職

生活科学研究科長	藏澄　美仁	R4.4.1～R6.3.31
人間関係学研究科長	李　敏子	R4.4.1～R6.3.31
現代マネジメント研究科長	東　珠実	R4.4.1～R6.3.31
教育学研究科長	國井　修一	R4.4.1～R6.3.31

大学

定年退職

学長	後藤　宗理	R4.3.31
(国コ)教授	小川　雅魚	R4.3.31
(国コ)教授	木村　隆	R4.3.31
(人関)教授	杉藤　重信	R4.3.31
(文情)教授	上嶋　正博	R4.3.31
(教育)教授	齋藤　善郎	R4.3.31
(教育)教授	早川　操	R4.3.31
(教育)教授	宮川　充司	R4.3.31
(看護)教授	平井　眞理	R4.3.31

退職

(国際)准教授	SOTTILE　MARCO	R4.3.31
(文情)講師	太田　智己	R4.3.31
(看護)教授	粥川　早苗	R4.3.31
(看護)助教	坂　恒彦	R4.3.31

任命

椙山女学園大学長	黒田　由彦	R4.4.1～R8.3.31

採用

(生活)講師	山田　紀子	R4.4.1
(生活)助手	村上　志歩	R4.4.1～R7.3.31
(国際)講師	尹　芷汐	R4.4.1
(国際)講師	児玉　恵太	R4.4.1
(人関)准教授	松浦　直毅	R4.4.1
(文情)准教授	早瀬　光浩	R4.4.1
(現マ)教授	都築　治彦	R4.4.1
(教育)准教授	松村　齋	R4.4.1
(教育)講師	磯村　正樹	R4.4.1
(看護)教授	小松　美砂	R4.4.1
(看護)教授	福田　誠司	R4.4.1
(看護)助教	中島　奈緒子	R4.4.1～R7.3.31
(看護)助手	大比叡　和子	R4.2.1～R5.1.31
(看護)助手	井上　千秋	R4.4.1～R5.3.31
(看護)助手	岡本　優子	R4.4.1～R5.3.31
(看護)助手	川上　將	R4.4.1～R5.3.31
(看護)助手	堀元　美紗子	R4.4.1～R5.3.31
(看護)助手	吉田　誠史	R4.4.1～R5.3.31

採用(更新)

(生活) 助教	井澤　幸	R4.4.1～R5.3.31
(生活) 助教	川口　香子	R4.4.1～R5.3.31
(生活) 助手	大谷　香代	R4.4.1～R5.3.31
(生活) 助手	中前　充代	R4.4.1～R5.3.31
(生活) 助手	長谷川　淑己	R4.4.1～R5.3.31
(生活) 助手	原田　綺	R4.4.1～R5.3.31
(生活) 助手	松田　美樹	R4.4.1～R5.3.31
(文情) 助教	福安　真奈	R4.4.1～R5.3.31
(教育) 特命教授	池田　京子	R4.4.1～R5.3.31
(教育) 客員教授	玉田　弘	R4.4.1～R5.3.31
(教育) 客員教授	奥谷　和生	R4.4.1～R5.3.31
(教育) 客員教授	水越　光久	R4.4.1～R5.3.31
(教育) 客員教授	森　里美	R4.4.1～R5.3.31
(教育) 客員教授	森岡　知彦	R4.4.1～R5.3.31
(教育) 客員教授	浪川　幸彦	R4.4.1～R5.3.31
(看護) 特命教授	黒木　留美子	R4.4.1～R5.3.31
(看護) 助教	武田　智美	R4.4.1～R6.3.31
(看護) 助手	李　秀訂	R4.4.1～R5.3.31
(看護) 助手	河合　桂子	R4.4.1～R5.3.31
(看護) 助手	川畑　美果	R4.4.1～R5.3.31
(看護) 助手	倉田　真衣	R4.4.1～R5.3.31
(看護) 助手	瀧田　咲枝	R4.4.1～R5.3.31
(看護) 助手	德元　宏美	R4.4.1～R5.3.31

採用(更新)(外国人教員 任期を定める雇用)

(国際) 准教授(期限付)	BROADBY　DEBORAH LEA	R4.4.1～R5.3.31
(国際) 准教授(期限付)	MALONEY　IAIN	R4.4.1～R5.3.31

採用(更新)(外国人教員 任期法による雇用)

(国際) 准教授(任期制)	Di Cello Cheryl	R4.4.1～R5.3.31
(国際) 准教授(任期制)	Morrish Jaime	R4.4.1～R5.3.31

昇任

(生活) 准教授	保田　倫子	R4.4.1
(人関) 准教授	浦上　萌	R4.4.1
(現マ) 准教授	砂口　文兵	R4.4.1
(現マ) 准教授	苗　馨允	R4.4.1
(現マ) 准教授	山本　将成	R4.4.1

補職

学長補佐	長澤　唯史	R4.4.1～R6.3.31
入学センター長	栃窪　優二	R4.4.1～R5.3.31
入学センター副センター長	石原　久代	R4.4.1～R5.3.31
キャリア育成センター長	吉田　あけみ	R4.4.1～R6.3.31
生活科学部長	本山　昇	R4.4.1～R6.3.31
生活科学部管理栄養学科主任	大口　健司	R4.4.1～R6.3.31
生活科学部生活環境デザイン学科主任	滝本　成人	R4.4.1～R6.3.31
人間関係学部人間関係学科主任	谷口　功	R4.4.1～R6.3.31
人間関係学部心理学科主任	加藤　容子	R4.4.1～R6.3.31
教育学部主任(初等中等教育専修担当)	伊藤　仁一	R4.4.1～R5.3.31
看護学部長	杉浦　美佐子	R4.4.1～R6.3.31
看護学部看護学科主任	早川　幸博	R4.4.1～R6.3.31

任命

椙山人間学研究センター研究員	加藤　泰史	R4.4.1
椙山女学園食育推進センター員	古田　真司	R4.4.1
椙山女学園食育推進センター員	飯島　由理	R4.4.1

高等学校・中学校

兼任

高等学校長	深谷　和義	R4.4.1～R6.3.31
中学校長	深谷　和義	R4.4.1～R6.3.31

高等学校

定年退職

教諭	岡田　七重	R4.3.31
教諭	佐藤　弘嗣	R4.3.31
教諭	中島　義秋	R4.3.31

契約(期間の定めのある雇用)(新規)

教諭	大橋　一輝	R4.4.1～R5.3.31

契約(期間の定めのある雇用)(更新)

教諭	上岡　航平	R4.4.1～R5.3.31
教諭	岡田　莉奈	R4.4.1～R5.3.31
教諭	尾關　史樺	R4.4.1～R5.3.31
教諭	菅嶋　悠乃	R4.4.1～R5.3.31
教諭	髙森　理沙子	R4.4.1～R5.3.31
養護教諭	山森　早希子	R4.4.1～R5.3.31

配置換

教諭	伴野　茜	R4.4.1

兼務

高等学校司書教諭	田中　洋美	R4.4.1～R5.3.31

令和4年4月1日までの人事案件

中学校

退職

教諭	玉野　文香	R4.3.31

採用(新規)

教諭	國立　麻由	R4.4.1

契約(期間の定めのある雇用)(新規)

教諭	榊原　聡望	R4.4.1～R5.3.31

契約(期間の定めのある雇用)(更新)

教諭	伊藤　智美	R4.4.1～R5.3.31
教諭	岸　翔太	R4.4.1～R5.3.31

配置換

教諭	朝日　敦子	R4.4.1

兼務

中学校司書教諭	加藤　孝司	R4.4.1～R5.3.31

小学校

兼任

小学校長	相川　保敏	R4.4.1～R6.3.31

補職

小学校教頭	松原　道晴	R4.4.1～R5.3.31

契約(期間の定めのある雇用)(更新)

教諭	池村　さゆり	R4.4.1～R5.3.31
教諭	立川　采佳	R4.4.1～R5.3.31
教諭	西村　雄介	R4.4.1～R5.3.31
教諭	伴野　玉季	R4.4.1～R5.3.31
養護教諭	川澄　加代子	R4.4.1～R5.3.31

兼務

小学校司書教諭	加藤　孝司	R4.4.1～R5.3.31

幼稚園

兼任

幼稚園長	山中　文	R4.4.1～R6.3.31

補職

幼稚園教頭	小林　奈美	R4.4.1～R7.3.31

契約(期間の定めのある雇用)(新規)

教諭	長谷川　桂	R4.4.1～R5.3.31

契約(期間の定めのある雇用)(更新)

教諭	櫻木　華穂	R4.4.1～R5.3.31
教諭	根﨑　智子	R4.4.1～R5.3.31
教諭	松原　香菜子	R4.4.1～R5.3.31

こども園

採用(専任化)

保育教諭	関口　実季	R4.4.1
保育教諭	丸岡　舞子	R4.4.1
栄養士	河合　美穂	R4.4.1
栄養士	星　柚帆	R4.4.1

契約(期間の定めのある雇用)(新規)

保育教諭	森井　史奈	R4.4.1～R5.3.31
保育教諭	米本　アイミ	R4.4.1～R5.3.31

契約(期間の定めのある雇用)(更新)

保育教諭	天川　真美	R4.4.1～R5.3.31
保育教諭	岩田　彩香	R4.4.1～R5.3.31
保育教諭	小木曽　洋宇	R4.4.1～R5.3.31
保育教諭	齋藤　祐奈	R4.4.1～R5.3.31
保育教諭	冨田　遥風	R4.4.1～R5.3.31
保育教諭	樋口　実冬	R4.4.1～R5.3.31
保育教諭	横倉　沙季	R4.4.1～R5.3.31

補職

指導保育教諭	這越　美里	R4.4.1

保育園

採用(専任化)

保育士	賴金　愛奈	R4.4.1

契約(期間の定めのある雇用)(新規)

保育士	髙木　美祈	R4.4.1～R5.3.31

契約(期間の定めのある雇用)(更新)

保育士	水田　春菜	R4.4.1～R5.3.31
保育士	水間　恵美	R4.4.1～R5.3.31
保育士	森本　佐知子	R4.4.1～R5.3.31
保育士	吉村　真優加	R4.4.1～R5.3.31

事務局

定年退職

総務部図書館課	松野　高徳	R4.3.31

退職

財務管財部財務経理課	飯田　隆之	R4.3.31
学務部キャリア支援課	髙橋　久美	R4.3.31

補職

事務局長事務取扱	小林　嗣明	R4.4.1～R5.3.31

採用(新規)

総務部総務課	浅井　祐樹	R4.4.1
総務部日進キャンパス事務課	石黒　愛果	R4.4.1
企画広報部広報課	村山　真紀子	R4.4.1
財務管財部財務経理課	野村　日莉	R4.4.1

昇任

課長級	(課長補佐級)	川井　幸治	R4.4.1
課長補佐級	(係長級)	上田　範子	R4.4.1
課長補佐級	(係長級)	武田　智登世	R4.4.1
課長補佐級	(係長級)	田中　裕之	R4.4.1
課長補佐級	(係長級)	福冨　竜也	R4.4.1
係長級	(係員)	河野　千恵	R4.4.1

配置換

図書館課長	(看護学部事務室長)	川井　幸治	R4.4.1
日進キャンパス事務課課長補佐	(日進キャンパス事務課主任)	田中　裕之	R4.4.1
看護学部事務室長	(キャリア支援課主任)	福冨　竜也	R4.4.1
人事課課長補佐	(人事課主任)	上田　範子	R4.4.1
学生課課長補佐	(人事課主任)	武田　智登世	R4.4.1
山添キャンパス事務課主任	(山添キャンパス事務課)	河野　千恵	R4.4.1
人事課	(教務課)	掛布　高滉	R4.4.1
教務課	(入試課)	内山　雄太	R4.4.1
入試課	(広報課)	七原　詩歩	R4.4.1
キャリア支援課	(学生課)	尾内　里江	R4.4.1

顕彰

名古屋市私立幼稚園協会表彰(10年)	幼稚園	教諭	根﨑　智子	R4.3.31
名古屋市私立幼稚園協会表彰(6年)	幼稚園	教諭	川口　萌文	R4.3.31
名古屋市私立幼稚園協会表彰(5年)	幼稚園	教諭	伊藤　環	R4.3.31

訃報

高等学校・中学校 教諭	旧職員	岩井　ひさ	R3.4.19
高等学校・中学校 元校長	旧職員	吉田　武	R4.1.20
事務職員	旧職員	本田　光子	R4.3.8
元理事長・元学園長・元学長	旧職員 名誉教授	椙山　孝金	R4.3.12

NEW FACE ニューフェイス

生活科学部 講師 山田　紀子（ヤマダ　ノリコ）

母校である椙山女学園大学に再び着任できることをうれしく思います。これまでの経験を活かしつつ、学生とともに教育、研究活動に励んでいきたいと思います。よろしくお願いします。

生活科学部 助手（期限付） 村上　志歩（ムラカミ　シホ）

母校である椙山女学園大学で働けることを大変嬉しく思っております。学生のみなさんが充実した学生生活を送れるように、精一杯サポートしていきます。よろしくお願い致します。

国際コミュニケーション学部 講師 尹　芷汐（イン　シセキ）

歴史ある椙山女学園大学で研究教育に従事できることを光栄に思います。国際的な視点で日本文化を考える授業に取り組み、学生が今後国際社会や地域社会の諸領域で活躍できるようにお力添えできれば幸いです。

国際コミュニケーション学部 講師 児玉　恵太（コダマ　ケイタ）

2022年4月より国際コミュニケーション学部に着任しました、児玉恵太と申します。専門は英語教育です。一日でも早く本学に慣れ、皆さんのお役に立てるよう頑張って参りますので、よろしくお願いします。

人間関係学部 准教授 松浦　直毅（マツウラ　ナオキ）

専門は人類学で、アフリカの熱帯地域でフィールドワークにもとづく研究をおこなうとともに、実践活動にも取り組んできました。そうした経験を生かして教育に貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。

文化情報学部 准教授 早瀬　光浩（ハヤセ　ミツヒロ）

本年度より文化情報学部に准教授として着任しました。専門はコンピュータビジョンです。これまでの経験を活かし、学生への教育・研究に力をいれていきたいと考えております。これからよろしくお願い致します。

現代マネジメント学部 教授 都築　治彦（ツヅキ　ハルヒコ）

本年度より現代マネジメント学部教授として着任致します。ミクロ経済学を中心に公共経済学、ゲーム理論などを専門としております。日々刻々と変化する経済について学生の皆さんとともに学びたいと考えております。

教育学部 准教授 松村　齋（マツムラ　ヒトシ）

4月1日着任をいたしました松村齋（ひとし）と申します。長年、特別支援学校の教諭として、特別な支援が必要な子どもたちと一緒に学んで参りました。学園関係の皆様、学生の皆さん、宜しくお願い致します。

教育学部 講師 磯村　正樹（イソムラ　マサキ）

国公立幼稚園で幼稚園教諭として勤務するなかで、幼児教育・保育の楽しさと奥深さを実感してきました。学生とともに学びを深め、ともに成長していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

看護学部 教授 小松　美砂（コマツ　ミサ）

歴史ある学園の一員となり、心から感謝すると共に身の引き締まる思いでおります。専門は老年看護学で高齢者や家族の支援、認知症高齢者への看護等について研究しています。学生と共に成長できるよう尽力いたします。

看護学部 教授 福田　誠司（フクダ　セイジ）

2022年度から看護学部に着任しました。これまでは島根大学医学部で医学生と看護学生へ教えながら臨床医として過ごしてきました。地元の愛知県の本学で働けますことを嬉しく思います。宜しくお願い致します。

看護学部 助教（任期制） 中島　奈緒子（ナカシマ　ナオコ）

看護学部助手として5年間勤務したのち、この度助教として着任になりました中島奈緒子です。これまでの経験を生かし、学生の皆様が看護の楽しさや奥深さを感じられるような指導を今後も心がけていきます。

看護学部 助手（期限付） 井上　千秋（イノウエ　チアキ）

この度伝統ある椙山女学園大学に就職することになりました。井上千秋と申します。これまでの看護経験を活かし、皆さんと一緒に学びたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

看護学部 助手（期限付） 大比叡　和子（オオビエ　カズコ）

2月より採用となりました大比叡と申します。少し読みづらい苗字をしておりますが、どうぞよろしくお願い致します。早く業務に慣れるよう努力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

看護学部 助手（期限付） 岡本　優子（オカモト　ユウコ）

歴史と伝統のある椙山女学園大学に着任することができ、大変嬉しく思います。これまでの経験を生かし、地域社会に貢献できる人になれるよう、学生と共に成長していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

看護学部 助手（期限付） 川上　將（カワカミ　ススム）

看護師として手術室や救急外来等に25年間勤務しておりました。臨床で看護学生や新人看護師の指導を行っていましたが、教育の現場で働くことは初めてです。至らない点があると思いますが、どうぞお願い致します。

看護学部 助手（期限付） 堀元　美紗子（ホリモト　ミサコ）

今年度より看護学部でお世話になります堀元美紗子と申します。未熟なところも多々ありますが、精一杯頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

看護学部 助手（期限付） 吉田　誠史（ヨシダ　セイジ）

看護学部精神看護学でお世話になります、吉田誠史です。教育現場での仕事にとてもやりがいを感じています。学生と一緒に自分も成長していけるような関わりをしたいと思っています。よろしくお願い致します。

高等学校 教諭（期限付） 大橋　一輝（オオハシ　カズキ）

この度、椙山女学園で働かせていただくことになりました、大橋一輝と申します。一日でも早く仕事を覚えて、生徒の成長をサポートできるよう精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

中学校 教諭 國立　麻由（クニタチ　マユ）

今年度から椙山女学園に参りました國立麻由と申します。椙山は人との出会いだけでなく、沢山の出会いで溢れています。その中で皆さんと過ごせることがとても嬉しいです。皆さんに素敵な出会いがありますように。

中学校 教諭（期限付） **榊原　聡望**（サカキバラ　サトミ）

今年度より、常勤として勤めさせていただくことになりました榊原聡望と申します。教員としての経験は浅く、至らない点が多いかと思いますが、精一杯努めさせていただく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

幼稚園 教諭（期限付） **長谷川　桂**（ハセガワ　カツラ）

13年ぶりに幼稚園へ復帰させていただきます。周りへの感謝の気持ちを大切に。今まで経験してきたことを活かし、今だからできることに柔軟にチャレンジしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

こども園 保育教諭（期限付） **森井　史奈**（モリイ　フミナ）

今年度からこども園で勤務させて頂くことになりました。母校である椙山女学園で勤務できることを嬉しく思います。こどもたちや保護者の方に寄り添った保育をしていきたいと思います。宜しくお願い致します。

こども園 保育教諭（期限付） **米本　アイミ**（ヨネモト　アイミ）

幼稚園から通わせていただいた椙山女学園で、夢であった保育教諭として勤務できることを嬉しく思います。園児と共に成長できるよう日々精進して参ります。よろしくお願い致します。

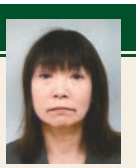
こども園 保育教諭 **丸岡　舞子**（マルオカ　マイコ）

この度、専任として選んで頂き嬉しく思います。椙山女学園の「人間になろう」という教育理念を念頭に置き、子どもの主体性を尊重し、遊びを通して学びに向かう力を育んでいけるよう努めていきます。

こども園 保育教諭 **関口　実季**（セキグチ　ミキ）

今年度から専任職員として勤務させて頂けることを嬉しく思います。教育理念である「人間になろう」に基づき、子どもたちが人を大切にできる、人と支え合える、自ら頑張れる人となれるよう、日々努めて参ります。

こども園 栄養士 **河合　美穂**（カワイ　ミホ）



初心を忘れず、自園調理の良さを活かし、子どもたちが笑顔になって美味しく楽しく給食やおやつを食べられるよう日々努めてまいりたいと思います。宜しくお願い致します。

こども園 栄養士 **星　柚帆**（ホシ　ユズホ）

今年度より専任職員としてこども園で勤務させて頂けることを嬉しく思います。子ども達に食べることの楽しさや、食を通して健康な身体を形成することを伝えられるよう安全で美味しい給食の提供に努めてまいります。

保育園 保育士（期限付） **髙木　美祈**（タカギ　ミノリ）

この度、附属保育園の保育士として勤めさせていただくことになりました、髙木美祈と申します。子ども一人ひとりに寄り添い、笑顔を絶やさず頑張ります。よろしくお願い致します。

保育園 保育士 **賴金　愛奈**（ヨリカネ　アイナ）

大学時代、お世話になった椙山女学園で働くことができることをとても嬉しく思っています。学びを深め、子どもたちにより良い保育を提供できるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。

事務職員 **浅井　祐樹**（アサイ　ユウキ）

今年度より、椙山女学園で事務職員として勤めさせていただくことになりました、浅井祐樹と申します。これまでの経験を活かして、伝統ある学園の発展に貢献をしていきます。よろしくお願いいたします。

事務職員 **石黒　愛果**（イシグロ　マナカ）

中学校からお世話になった本学園で、勤務できることを大変嬉しく思います。伝統を守りつつ、さらに魅力的な学園づくりに貢献できるよう努めて参ります。至らない点ばかりではございますが、精一杯頑張ります。

事務職員 **野村　日莉**（ノムラ　ヒリ）

大学時代お世話になった本学園で勤めさせて頂くことになり、大変嬉しく思っております。「人間になろう」の理念を常に意識することで、多様な社会に対応した学園の運営に貢献できるよう努力して参ります。

事務職員 **村山　真紀子**（ムラヤマ　マキコ）

この春で社会人4年目になります。学生の皆様にとって、学園で過ごす日々がかけがえのない時間となり、大切な人にも勧めたくなるような学びの場を作っていけるよう、職員として謙虚に学びながら邁進していきます。

令和4年度入試の状況

	募集人員	志願者数			志願者前年比	入学者数		
		R4	R3	R2		R4	R3	R2
大学院*	46	53	39	31	135.9%	19	20	15
大学	1,347	5,678	6,174	7,729	92.0%	1,226	1,364	1,416
大学（2年次編入）	6	7	6	6	116.7%	5	4	2
大学（3年次編入）	34	34	34	18	100.0%	28	22	12
高等学校	399	694	739	693	93.9%	383	372	394
中学校	120	543	505	591	107.5%	206	205	213
小学校	80	128	116	115	110.3%	85	77	86
小学校（2年転入）	若干名	1	5	3	20.0%	1	4	2
小学校（3年転入）	若干名	0	4	0	0.0%	0	2	0
小学校（4年転入）	若干名	5	2	1	250.0%	2	2	0
幼稚園（3年保育）	88	94	98	115	95.9%	77	82	87
幼稚園（2年保育）	若干名	7	10	3	70.0%	4	5	3
幼稚園（1年保育）	若干名	4	2	2	200.0%	4	2	2
合計		7,248	7,734	9,307		2,040	2,161	2,232

＊ 大学院には令和3年9月入学者も含む。

講評

大学	大学の学部1年次の志願者数は5,678名で昨年より497名減。対前年比では約92%、対一昨年比では73.5%と2年連続で減少した。生活科学部と看護学部以外の5学部では定員を満たさず、大学全体の入学定員超過率は91.0%となり、初めて定員未充足に転じた。大学院は4研究科で志願者53名（14名増）で、19名が入学し、対昨年比1名減少した。
高等学校	推薦入試、一般入試を合わせた志願者数は488名。椙山中学校からの推薦合格者206名と合わせ、計383名の新入生を迎え10クラス編成となった。
中学校	志願者数543名で昨年より38名増。受験者数298名のうち221名合格で、実質倍率1.35倍となった。椙山女学園大学附属小学校からの推薦67名と合わせて206名、6クラス編成となった。
小学校	新入学志願者数はAO型入試33名、推薦29名、帰国子女1名、一般65名を合わせ128名。さらに新2～4年生の転入学志願者数は6名。入学者数は新入生85名、転入生3名で合わせて88名となった。
幼稚園	新入園志願者数は、募集定員を超え105名であった。入試後の移動が若干名出ている。

主な学園行事予定5月～7月

日時	曜日	行事	主催・対象
5/14	土	学校説明会	中学校
6/1	水	学園創立記念日	学園
6/4	土	オープンスクール	中学校
6/11	土	3年生・保護者対象大学説明会	高等学校
6/11・18	土	親子ふれあいDAY	幼稚園
6/12	日	オープンキャンパス	大学
6/18	土	学校説明会	小学校
6/25	土	パパと遊ぶ会	保育園
7/1	金	プール開き	保育園
7/3	日	大学院入試	大学院
7/4	月	プール開き	こども園
7/7	木	七夕会	こども園
7/7	木	七夕会	保育園
7/8	金	夕涼み会	幼稚園
7/9	土	オープンスクール	高等学校
7/10	日	オープンキャンパス	大学
7/15	金	終業式	小学校
7/19	火	終業式	高等学校・中学校
7/20	水	終業式	幼稚園

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から、行事を中止することがあります。最新情報は各校ホームページなどでご確認ください。

編集後記

今回お届けする学園報には、新たに就任された椙山泰生理事長、黒田大学長、深谷中学・高等学校長、相川小学校長、そして退任された森棟前理事長、後藤前大学長からご挨拶をお寄せいただきました。また、この春から学園が新たに迎え入れることとなった学生、生徒、児童、園児の入学式、入園式の様子と新任教職員の方々もご紹介するなど出会いと別れが行き交う春にふさわしい紙面となりました。新型コロナウイルス感染症対策に関する記事もなくなっています。コロナ禍で停滞した学園や各学校の活動が、本来の動きを取り戻りつつあることが感じられます。

ご意見・ご質問などはこちらへお寄せください。 広報課（kouhou@sugiyama-u.ac.jp）